

電車を降りた先に見えるのは青い水平線 市の玄関口“JR日立駅”



JR日立駅は、1897（明治30）年に、助川駅として旧海岸口の線路を挟んだ山側で開業しました。その後、1939（昭和14）年に、当時の助川町が日立町と合併し日立市となったことで、日立駅に改名されました。2011（平成23）年に完成した美しいガラス張りの橋上駅舎は、2012（平成24）年にグッドデザイン賞を、2014（平成26）年には鉄道関連では唯一の国際デザインコンペティション「ブルネル賞」の優秀賞を受賞するなど、これまでに11の賞を受賞しました。

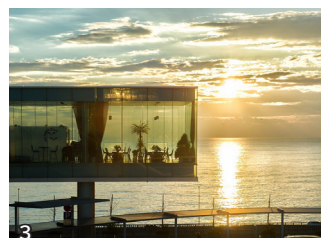
また、2020（令和2）年1月27日の「NIKKEI STYLE」（日本経済新聞社）に掲載された「デザインに見惚れるモダン駅舎10選」で2位に選ばれました。

日立駅のデザインを監修したのは、現在、世界中で活躍している日立市出身の建築家、妹島和世氏です。妹島氏は、2010（平成22）年に建築界のノーベル賞とも呼ばれる「プリツカー賞」を受賞しています。

2019（令和元）年9月から、誰でも自由に弾くことができる「えきピアノ」が、茨城県内では初の試みとして設置され、多くの人々を楽しませています。



1・2. 駅の自由通路の東側先端にある展望イベントホールは、太平洋が一望できる絶好のオーシャンビュースポット。ホール内には、妹島氏が代表を務めるSANAAがデザインした「フラワーチェア」が設置されています。



3. 駅に併設されたシーバズカフェは午前7時からオープン。店内から美しい日の出を見ることができます。

4. 夜になるとガラスが光り輝く。日立シーサイドロードからも、その美しさを見ることができます。



<基本情報>

【所在地】日立市幸町1-1-1

【問合せ先】

日立市シティプロモーション推進課 0294-22-3111

【URL】

<https://www.city.hitachi.lg.jp/citypromotion/hitachikaze/topic/001/p089318.html>